

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科			看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名			地域と健康	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 ー(1) 時間(単位)
対 象 学 年			1年次	学期及び曜時限	後期	教室名	各教室・地域
担 当 教 員			藤原祥子他	実務経験とその関連資格	総合病院にて整形外科・内科病棟看護師長として勤務		
《授業科目における学習内容》							
地域社会の特徴や、地域で生活する人々の価値観・暮らしを理解し,地域をどのように把握するかを学ぶ。また、必要なコミュニケーション能力を身につけ、地域観察を通して生活と健康の関連を理解する。							
《成績評価の方法と基準》							
1.出席と授業態度・取り組み姿勢(10%) 筆記試験(90%)で評価する。							
系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院、適宜資料を配布する。							
《授業外における学習方法》							
授業前に教科書・参考書を読んでおく。							
《履修に当たっての留意点》							
日頃からメディア・新聞・地域の雑誌などの情報に関心を持ちましょう。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の対象を日々暮らしを営んでいる生活者として理解し、その暮らしと健康について考えることができる。			教科書 配布資料	教科書を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	人々の暮らしの理解				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	暮らしとは何かを改めて考え、地域・在宅看護とはどのような看護か、またその求められる役割について学ぶ。			教科書 配布資料	課題レポート:「講義を聴いて学んだこと」
		各コマにおける授業予定	地域・在宅看護の役割				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	それぞれの地域はさまざまな特徴をもつことを学び、地域のとらえ方を理解する。			教科書 配布資料	課題レポート:「講義を聴いて学んだこと」
		各コマにおける授業予定	暮らしと地域、地域の定義、人々の暮らす地域の多様性				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域共生社会および地域包括ケアシステムについて学習し、具体的なイメージをもつことができる。			教科書 配布資料	課題レポート:「講義を聴いて学んだこと」
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムと地域共生社会				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの基礎①			教科書 配布資料	グループワーク
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの構造 言語・非言語の理解				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの基礎②	教科書 配布資料	グループワーク
		各コマにおける授業予定	傾聴・受容・共感		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力とは	教科書 配布資料	グループワーク
		各コマにおける授業予定	社会人として求められる基本姿勢 挨拶・礼節・時間管理		
第8回	講義 形式	授業を通じての到達目標	報連相・チームワーク	教科書 配布資料	グループワーク
		各コマにおける授業予定	職場で求められる情報共有とは チームで働く意義		
第9回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	地域施設の理解	教科書 配布資料	課題の自己学習、グループワーク
		各コマにおける授業予定	行政・福祉施設・医療機関の役割、地域連携の流れ		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	フィールドワーク準備 インタビューや訪問マナーを学び実践できる	教科書 ワークシート	グループワーク
		各コマにおける授業予定	地域観察に向けて 地域を調べる マナーについて		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	フィールドワーク① 地域観察	教科書 ワークシート	グループワーク
		各コマにおける授業予定	地域を歩いて観察 今市地区 生活・交通・健康資源の把握		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	フィールドワーク② 地域住民の理解	教科書 ワークシート	グループワーク
		各コマにおける授業予定	住民インタビュー（可能な範囲） コミュニケーション実践		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	フィールドワーク振り返り	教科書 ワークシート	グループワーク
		各コマにおける授業予定	気づきの共有 発表準備		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会人としての基礎的態度を身につけることができる。地域や人とのつながりの大切さを理解する。発表し意見交換ができる。	教科書 ワークシート	課題の自己学習、グループワーク
		各コマにおける授業予定	フィールドワーク学び 発表		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 保障されるべき在宅看護の対象者の権利を述べることができる。 2. 高齢者虐待を発見した際の対応について説明できる。	教科書 ワークシート	課題の自己学習、グループワーク
		各コマにおける授業予定	ふり返し、レポート作成		